

# 令和6年度 見附中学校 グランドデザイン

教育目標 自律 創造 敬愛 健康

～「未来を共に創る」～

共に考え、共に創る活動を通して、問題解決力と自己肯定感を高める

## 確かな学力の伸長

### ◎仲間と共に、納得するまで粘り強く取り組む

#### こんな活動をします

- 「対話的な学び」を大切にしながら問題解決的な学習を取り入れた授業づくり
  - ・生徒が追求したくなる課題と単元の見通しを生徒と共有し、1時間の授業や単元全体を通じて生徒が自分なりの分かり方で学習内容を理解したり、道徳的価値を捉えなおしたりする。
  - ・ICTソフトや見中スタンダードなどの話し合いのフォーマットを活用し、生徒の意見の可視化や共有化（生徒同士のつながり）を図ることで、対話的で深い学びを行う。
- 未来を豊かに過ごすための「道徳性」育成
  - ・単元構想シートを作成・活用することを通じて教材の道徳的価値を十分に把握し、焦点化するなど、教材解釈を深めて授業を行う。
  - ・ICTソフトや思考ツールを有効に活用して意見の集約を行い、生徒が自他の考えを比較しながら話し合い、自分ならどうするか悩んだり、視野を広げたりする場面をつくり、道徳的価値を再構築する学びを展開する。
  - ・生徒が授業を通じて道徳的価値について捉え直したことを、自分の体験と関連させながら記述する視点を与え、生徒自身の今後の在り方について考えさせる場面をつくる。

## 自己肯定感と豊かな人間性・社会性の育成

### ◎自他共に尊重する

#### こんな活動をします

- 「地域と共に課題解決に取り組む」相互連携の充実
  - ・地域コミュニティ等との連携をさらに密にし、課題解決的な活動を展開する。
    - 町の先生的なもの ・作物づくり ・アントレプレナーシップの醸成
  - ・地域、見附と関連づけて、生徒が前面に出る取組を位置づける。
    - 生徒会活動、各教科、各学年の総合的な学習の時間等で地域連携を意識した取組を位置づける。
- 生徒の自己肯定感を育成する支援（フィードバック）のさらなる充実
  - ・「自分らしさ」を見つめ、認めるとともに他のよさに気づき、他を認め、共に成長していく意識を育てる。
    - 「自分を知る」「他を知る」「自他の輝かせ方・伸ばし方」をねらった学年・学級 独自の取組の推進。可視化「ジブサガ」「全校道徳」…計画的・効果的な実施
  - ・チーム「学級」「学年」「学校」への愛着（所属感を高める活動）
    - 学年ニックネーム「〇〇学年」や学級スローガンの作成。学級・学年をどのように成長させたいかを全校で確認し合う機会をつくる。

## マネジメント能力の育成

### ◎自分に向き合い、自ら高める ※マネジメント→自分自身で自由に使える時間を「健幸という視点」で組み立てられる

#### こんな活動をします

- 毎日の生活を「健幸」で価値あるものにマネジメントできる能力（メタ認知能力、計画力、実行する意志、修正力の育成）
  - ・生徒自身がPDCAサイクルを回し、生活を改善していく姿を目指す。教師の支援としては、「意識」と「自分を客観視」に着目し、相談や支援、指導（教科指導、部活動、生徒会、個別対応等）を行う。特に教育相談時に生徒の1日の過ごし方について聞き取りをしたり、教育相談アンケートにも関連の質問を盛り込む。
- マネジメント能力育成に向けた家庭、地域、外部機関等との連携
  - ・生徒の立てた目標・計画を家庭と共有する。保護者の意識啓発のための便りの発行。
  - ・ストレスマネジメント集会、体づくり講習会、小児生活習慣病事業事後指導

### ●地域とともに歩む

- 地域コミュニティとの連携をさらに深め、生徒が地域の行事やボランティアの活動に主体的に参加できるよう支援します。
- ボランティア活動や「見附スマイル活動」などの地域貢献活動を充実し、「まちの元気づくり」の一翼を担います。
- 地域学校協働本部や学校運営協議会の委員と生徒が熟議・協働する場面を設定し、連携した活動を積極的に行います。
- 地域の人材や企業と連携したキャリア教育・アントレプレナーシップ教育を推進します。
- Web ページ、見中メール、各種たよりなどで学校や生徒の様子などの情報発信を確実にします。

### ●特色ある学校

- 見中文化（見中プライド）を継承・発展させます。
  - ・自分たちの学校生活を自分たちで創る気運 ・タイム着席
  - ・明るい挨拶 ・見中スタンダードの徹底（話を聞く姿勢） など
- 未来を豊かに生きる資質・能力を身に付けられるよう支援します。
  - ・教育活動をSDGsの視点から見直し、様々な課題と持続可能性の考え方に触れ、社会の一員としてよりよい未来を創る意識を高めていきます。
  - ・各活動において「生徒が主体・主役」となり、目標と見通しをもって活動に取り組むことを重視します。
  - ・地域での活動を通して肯定的なフィードバックを得て、自己肯定感と豊かな人間性・社会性を高めることにつなげていきます。

地域とともに歩む、特色ある学校づくり